

尼崎市スポーツ推進審議会 議事概要
(平成25年度第2回会議)

- 1 開催日時 平成26年3月28日(金)午後1時30分～午後3時10分
- 2 委員出席状況 出席委員10人 欠席委員なし
- 3 傍聴者 なし
- 4 議事概要

議題1(報告事項) 第1回審議会における質疑事項について

配布資料:資料1「第1回審議会における質疑事項について」

委員 ベイコム総合体育館のトレーニングマシンの年間利用人数は。

事務局 平成25年度は57,926人、平成24年度は56,708人、平成23年度は58,708人であり、一定のご利用はあるものと理解している。

委員 利用者数を上げるということ言えば、できるだけ新しいマシンを提供して、利用者が快適な環境で運動できるようにお願いしたい。また、更新時には時代に見合った新しい機械を入れることも検討してもらいたい。

事務局 予算の制約がある中でなかなか難しいところはあるが、そうした中でもできるだけ多くの方にご利用いただけるような方策を考えたい。

議題2(報告事項)「尼崎市 運動・スポーツ活動に関する意識調査」の集計結果について

配布資料:尼崎市 運動・スポーツ活動に関する意識調査 結果(速報値)

委員 スポーツクラブ21に加入していると回答した人が少ないことについて、どう考えているか。

事務局 スポーツクラブ21の加入率は低下傾向にある。もう少し分析させていただき、頂いたご意見を参考に、何らかの振興策を考えたい。

委員 スポーツクラブ21だが、活用できれば中学生でも学校内で地域の方とスポーツができて良いと思うのだが、多くのところが活動していないのではないかと。中学校に対してスポーツクラブ21でこんなことをやっているという連絡はないし、ポスターも貼っていないから子どもは何も知らないだろう。やるのだったらやり方を考えないと活性化しない。

事務局 クラブにより、活発に活動しているところとそうでないところがある。連絡協議会や代表者会といった場で各クラブと協議しながらどういったやり方が良いのか考えたい。

委員 スポーツクラブ21については、尼崎市が抱えているスポーツの問題に大きく関わっており、予算をつけるかどうかは別として、市として大きく動いていかないといけない。日本にはスポーツクラブの文化がそもそも根付いておらず、クラブとは何かという根本的なところから丁寧に説明をしていかなければ、小手先だけではまた同じことになってしまう。

事務局 何らかの改善をしないとこのままでは先細りなので、何らかの改善策を見出すことができればと思っている。

委員 スポーツクラブ21について、他都市の取組みなども参考にしながら、本市のスポーツクラブ21の活動を活発にして、スポーツ振興をしてもらいたい。

委員 スポーツクラブ21は指導者の高齢化が進んでおり、スポーツ推進委員も若い世代の方に指導に関わってもらえていない。そのあたりの今後の方向性を具体的に打ち出せばよいと思う。

委員 スポーツクラブ21は、県から持ってこられて、駆け込みで作った経緯がある。若い人達にも関わってもらえる組織作りをすることが課題だ。活動が盛んなのは地方だから、地方へ行けば、どうして皆さんこぞってやっておられるのかわかるので

はないか。

また、PRが下手だ。通り一遍のものではなく、もう少し派手なPRをすれば食いついてくるのではないか。

事務局 情報発信については問題認識を持っており、こういったやり方がよいのか、市民に参加したいと思わせるような手法がないものかと思っている。

委員 スポーツは好きだからやるのであり、好きな連中が集まっているクラブは強い。どうしたら好きな連中を集めることができるのか、現場調査の中で答えが出てくるのではないか。

議題3 (報告事項) 計画前期における施策別実績評価について

配布資料：尼崎市生涯スポーツ振興計画 前期における実績及び評価

委員 これを元にしながら、後期計画は具体的な数値目標を立てていくのか。

事務局 もともとやっていた事務事業評価ベースの事業分類と施策体系とがうまくマッチングしにくいので、そのあたりの整合を図ることができればと思っている。

議題4 (報告事項) 尼崎市生涯スポーツ振興計画後期計画の策定スケジュールについて

配布資料：尼崎市生涯スポーツ振興計画 後期計画策定スケジュール(案)

(質疑なし)

以上